

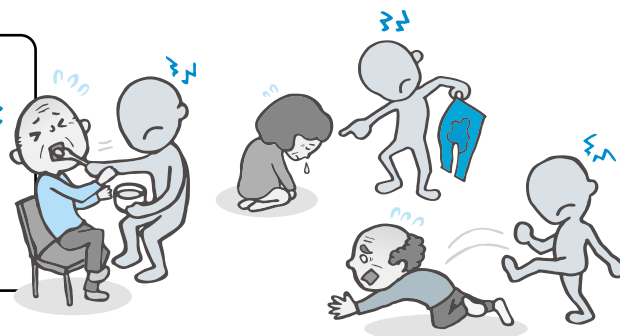


みんなで防ごう！高齢者虐待

高齢社会の昨今、自宅での介護や認知症介護の増加など、介護をとりまく現状は年々多様化しています。その中で、介護の頑張りすぎや、家族の介護疲れ、人間関係の不和などにより高齢者虐待へ発展する場合があります。また、家族・親族・地域・近隣などからの孤立、関係悪化が、自分自身への虐待（セルフネグレクト）に繋がる場合もあります。

こんなことはありませんか？

- ・身体に小さなキズがよくみられる
- ・家から怒鳴る声や、泣き声がよくきこえる
- ・いつも汚れた衣類を着ている
- ・元気がなく、家に閉じこもってばかりみたい
- ・家族が介護に悩んでいるようだ



高齢者虐待の防止には、地域のみなさんの協力が不可欠です。「見守り・気づき・助け合い」で、虐待の起こらない地域づくりをめざしましょう。お互いに日頃のあいさつや声かけが大事です。

誰かの気づきによって、早めに相談したり、福祉サービスを利用することで、介護負担の軽減や生活状態の改善が図られ、虐待の防止・解決につながる場合があります。

ご相談は市役所1階 高齢・障害者支援課内、多久市地域包括支援センター（☎0952-75-6033）まで

明日の「元気」を今の「地域と一緒に」につくる

通いの場を支援する事業所の出前講座を紹介します



多久いこいの里



▲出前講座での体操のようす

内 容

看護師、作業療法士など多職種がお伺いします。認知症予防講座・認知症予防体操（コグニサイズ）・介護相談などを行います。

申込期限 概ね2か月前まで

料 金 無料

連 絡 先

☎0952-75-3551

